

## 2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7805 URL <https://printnet.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田原 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 猪俣 裕貴 (TEL) 050-3734-6495  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年8月期第3四半期の業績 (2022年9月1日～2023年5月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	7,231	10.9	559	34.4	555	27.0	345	12.7
2022年8月期第3四半期	6,520	—	416	—	437	—	306	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	70.80	—
2022年8月期第3四半期	61.67	—

(注) 決算期変更に伴い、2021年8月期第3四半期累計期間 (2020年11月1日から2021年7月31日) と2022年8月期第3四半期累計期間 (2021年9月1日から2022年5月31日) は期間が異なるため、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	7,523	3,608	47.9
2022年8月期	7,455	3,380	45.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 3,601百万円 2022年8月期 3,376百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	6.4	600	8.8	596	4.1	370	△8.4	75.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	5,460,400株	2022年8月期	5,460,400株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	631,448株	2022年8月期	507,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	4,881,608株	2022年8月期3Q	4,972,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る影響が減少傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢等の影響を受け、景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社の当第3四半期累計期間における売上高は7,231,611千円となり前年同四半期累計期間比（以下、「前年同期比」）710,883千円の増収、営業利益は559,503千円で前年同期比143,317千円の増益、経常利益は555,434千円で前年同期比118,250千円の増益、四半期純利益は345,618千円で前年同期比38,960千円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ネット印刷通信販売事業

当第3四半期累計期間において、印刷売上高は7,056,051千円で前年同期比576,745千円の増収、内、大口得意先への印刷売上高は2,692,111千円で前年同期比114,752千円の増収、大口得意先以外の会員への印刷売上高は4,363,939千円で前年同期比461,993千円の増収になりました。また、新規会員数は12,133社（予想における通期累計新規会員数に対する進捗率105.3%）であり、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの平均売上高は21,292円となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は3,910円となっております。

印刷業界におきましては、コロナ禍における生活様式の変化に伴いWEB会議システム等を利用したオンラインでのコミュニケーションが増加したことや、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料やエネルギー価格の高騰が重なり、厳しい経営環境となっております。しかし、ネット印刷通販業界はコロナ禍以前の5年間に於いて毎年10%程度市場が拡大したと言われており、新型コロナウイルス感染症の影響に関しても、印刷業全体に比べ印刷需要の落ち込みは少なかったと考えております。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、将来に向けて、売上拡大や顧客の囲い込み、生産管理体制に対応できることを目的とした次世代基幹システムの構築を行っております。

また、大口得意先との取引条件の見直しや、従業員の多能工化による人員の適正化及び効率化を行い、営業利益の改善につなげました。なお、当第3四半期会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は7,116,913千円で前年同期比596,185千円の増収、セグメント利益は710,278千円で前年同期比216,782千円の増益となっております。なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

#### ② その他の事業

その他の事業の売上高は114,697千円で前年同期比114,697千円の増収、セグメント損失は35,334千円（前年同四半期累計期間は3,837千円の損失）です。当該損失の主たる要因は事業譲受に係るアドバイザーフィー等によるものであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ149,831千円増加し、2,769,505千円となりました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品が114,056千円増加したこと等によるものです。

当第3四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ81,351千円減少し、4,754,235千円となりました。その主な要因は、有形固定資産が203,909千円減少したこと及び無形固定資産が115,145千円増加したこと等によるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ68,479千円増加し、7,523,740千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ6,416千円増加し、2,444,539千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が109,293千円減少したものの、それ以外の流動負債が115,710千円増加したこと等によるものです。

当第3四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ166,177千円減少し、1,470,561千円となりました。その主な要因は、長期借入金金が156,681千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ159,760千円減少し、3,915,101千円

となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ228,240千円増加し、3,608,638千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が296,090千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は47.9%となり、前事業年度末に比べ2.6ポイント増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月14日に公表の業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,002,649	1,008,393
受取手形及び売掛金	694,850	785,395
商品及び製品	8,226	21,088
仕掛品	19,704	21,733
原材料及び貯蔵品	537,013	651,069
その他	357,878	282,557
貸倒引当金	△649	△733
流動資産合計	2,619,673	2,769,505
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,005,796	985,165
機械及び装置（純額）	2,027,818	1,786,323
土地	1,179,268	1,240,504
その他（純額）	171,121	168,101
有形固定資産合計	4,384,005	4,180,095
無形固定資産	168,300	283,446
投資その他の資産		
投資その他の資産	294,803	295,076
貸倒引当金	△11,521	△4,383
投資その他の資産合計	283,281	290,693
固定資産合計	4,835,587	4,754,235
資産合計	7,455,260	7,523,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	643,569	710,349
短期借入金	600,000	639,290
1年内返済予定の長期借入金	587,498	580,332
未払法人税等	200,000	90,706
賞与引当金	51,793	29,781
その他	355,261	394,079
流動負債合計	2,438,122	2,444,539
固定負債		
長期借入金	1,264,894	1,108,213
ポイント引当金	32,074	15,332
退職給付引当金	106,003	117,487
役員退職慰労引当金	5,145	5,595
長期未払金	207,325	200,304
その他	21,296	23,629
固定負債合計	1,636,739	1,470,561
負債合計	4,074,861	3,915,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	797,747	797,639
利益剰余金	2,050,535	2,346,626
自己株式	△285,553	△363,035
株主資本合計	3,378,451	3,596,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,961	4,302
評価・換算差額等合計	△1,961	4,302
新株予約権	3,908	7,383
純資産合計	3,380,398	3,608,638
負債純資産合計	7,455,260	7,523,740

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	6,520,728	7,231,611
売上原価	4,987,039	5,478,049
売上総利益	1,533,688	1,753,561
販売費及び一般管理費	1,117,503	1,194,058
営業利益	416,185	559,503
営業外収益		
受取利息	35	42
受取配当金	933	933
受取賃貸料	7,394	7,509
受取補償金	21,345	—
その他	2,061	1,562
営業外収益合計	31,769	10,047
営業外費用		
支払利息	6,575	7,471
賃貸費用	1,291	1,211
支払賃借料	775	718
支払手数料	320	1,467
その他	1,808	3,246
営業外費用合計	10,769	14,115
経常利益	437,184	555,434
特別利益		
保険解約返戻金	58,507	—
特別利益合計	58,507	—
特別損失		
固定資産除却損	1,372	5,017
特別損失合計	1,372	5,017
税引前四半期純利益	494,320	550,417
法人税、住民税及び事業税	179,482	192,608
法人税等調整額	8,180	12,190
法人税等合計	187,662	204,798
四半期純利益	306,658	345,618

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	6,479,305	6,479,305	—	6,479,305	—	6,479,305
資材売上高	38,413	38,413	—	38,413	—	38,413
その他売上高	3,008	3,008	—	3,008	—	3,008
顧客との契約から生じる利益	6,520,728	6,520,728	—	6,520,728	—	6,520,728
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,520,728	6,520,728	—	6,520,728	—	6,520,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,520,728	6,520,728	—	6,520,728	—	6,520,728
セグメント利益又は損失(△)	493,496	493,496	△3,837	489,659	△73,474	416,185

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△73,474千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。



Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	7,056,051	7,056,051	—	7,056,051	—	7,056,051
資材売上高	57,854	57,854	—	57,854	—	57,854
その他売上高	3,008	3,008	114,697	117,706	—	117,706
顧客との契約から生 じる利益	7,116,913	7,116,913	114,697	7,231,611	—	7,231,611
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,116,913	7,116,913	114,697	7,231,611	—	7,231,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,116,913	7,116,913	114,697	7,231,611	—	7,231,611
セグメント利益又は損 失(△)	710,278	710,278	△35,334	674,944	△115,441	559,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△115,441千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。